

# スズメバチの巣除去について

株式会社 ビートシステム 井上 貞雄

毎年、夏になると依頼が急増する蜂駆除案件。現場によって、様々なシチュエーションがあります。

除去するのが可哀想になってしまうくらい小さいピンポン玉のような巣もあれば、地中に埋まっている巨大なオオスズメバチの巣、壁面内や屋根裏や床下などの閉所空間にあるキイロスズメバチの巣、出入り自体が少なく搜索時にそもそも巣本体が見つげにくいアシナガバチの巣など、いろいろな種類があると思います。

それぞれで搜索方法や駆除方法はありますが、皆さんはスズメバチの巣を駆除施工するに当たって、どのような道具を使って、どのようにされていますでしょうか。

弊社では簡単に手が届くところであれば、蜂駆除用の殺虫スプレー・蜂駆除用のムース剤・魚網・削り道具(切断道具)・戻り蜂退治用の資材あたりを、一式にして持参して処置しています。状況に応じて、他の小道具を適時追加して対処していますが、殺虫して、巣を除去して、戻り蜂を退治して、というおおまかな流れはどこ現場でもほぼ変わりません。

## 【殺虫スプレー】

出入口の穴だけ封鎖して処置すれば、ゴキブリ用のスプレーでも殺すことは出来ますが、効果の程度に差があるので、速やかな殺虫が必要な現場では蜂専用の資材が勝ります。また、巣が巨大化すると、蜂の死骸が積み重なって奥にスプレーが届きにくくなるので、季節によっては複数箇所から注入するのが望ましいです。

## 【ムース剤】

個人的にはお気に入りの資材で、必要なさそうでも、お守り代わりに持参していることが多いです。巣に辿り着くのに手間取りそうなときは遠方から最初に入出入口をムース剤で塞いでしまってから、近づくことも多いです。また、巣本体に複数個所の穴が開いているときなどは発見次第、瞬時に塞ぐことが出来るので助かります。いざ、駆除施工を始めたなら後ろ側が壊れていたという時も対処し易いです。

## 【魚網】

初期の頃は巣を取る時に虫取り網を使いましたが、重量に耐えられずにすぐに壊れてしまうことが多く、一時期から魚用の網に変更しました。大きすぎる巣の場合は複数回に分けて取り除く形となるものの、耐久性は抜群です。さすがは魚捕獲用です。

(もっとサイズが大きいものがあつたら良いと思うものの、あまり見かけません。)

## 【削り道具】

剪定鋏だったり、スクレーパーだったり、巣の残骸をなるべく取り除ければ、何でも良いです。

(高所の場合、真上の垂直面を削り取るのが大変です。未だに試行錯誤中。)

## 【戻り蜂退治用資材】

狭いスペース、足場不安定な場合は粘着板での捕獲がほとんどです。広大なスペースがあって、周囲への影響を与えない場合はバトミントラケットを使って、戻り蜂を叩いている時もあります。防護服を着て、バトミントラケットを振っている様はプロには程遠い見た目なのですが、簡単ですし、感触が気持ち良いんですよね。気絶させるというより、頭と胴体が普通に千切れるのでほぼ即死ですね。デメリットとしては、こんなに戻り蜂を退治したよ～、というのが証明しにくい点でしょうか。。ただ、現場次第で有用です。



巣の大きさの差はあれども、目視できて手が届くところであれば、ほとんど問題なく、他の方法でも駆除できていると思います。

では、目視は出来ても、高さがあるところはどうでしょうか？費用や手間はかかるものの、場合によっては高所作業車ですね。難点は費用が高額になってしまうことと、高所作業車が入れる場所でない、そもそも作業自体が実施できないといったところでしょうか。ドローンでの駆除が実用化されれば、ガラッと状況が変わると思いますが、法整備などの観点からも一般に広まるのはまだまだ時間がかかりそうです。

弊社でも高所のスズメバチ巣除去の依頼は多々あります。基本的には長梯子+エアロングやハチローなどの遠距離用の蜂駆除道具を使用して対処してしまうのですが、稀にそれらの射程距離を超える現場に遭遇します。かつ、高所作業車も入れないという現場になると困ってしまいます。

そういった時には、お手製で資材を作って遠距離の巣を取るようになっています。傾斜地であっても、真下近くまで入れて高さが8mくらいまでなら出来ることが多いです。さすがに戻り蜂の処置はやりにくいのが実情ですが、巣自体を除去できれば、それで解決する現場状況もあります。



必要なものは、魚網・塗装用ローラーの柄・清掃用の伸縮棒のみ。(魚網の写真が加工後のものですね)

魚網をシリコン剤やガムテープを使って塗装用ローラーの先端部に合体させる。塗装用ローラーの柄は伸縮棒に取付可能なので、物理的には魚網が伸縮棒の伸びる距離まで届くことになります。魚網に入れば、あとは引っ張れば大抵の場合、巣本体は除去できます。先端部をスクレーパーに変えれば、一定程度の削り取りも可能です。ちなみに最初に行う殺虫はスプレー剤の継続噴霧による力技です。伸縮棒の先にスプレー缶を取り付けて、噴霧させながら巣の付近へ。先端部のコントロールはしづらいのですが、夜間などなら殺虫効果は出やすいです。高所の高難度案件の場合は、夜間の殺虫と日中の巣本体除去、2回に分けて対策作業を行うのもアリかもしれません。

ここまで、長々と説明していますが、そもそも高所作業車を使えば、万事解決です。しかし、高所作業車が使えず、ハチローやエアロングなどの特殊資材が届かないなどのときには、現場でお試し下さい。尚、先端が長いので、風に揺られます。悪天候時にはご注意を。。。